



# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754

伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページ▶



市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール [kyousan@city.yachiyo.chiba.jp](mailto:kyousan@city.yachiyo.chiba.jp)

第477号

2020年10月19日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

## キャッシュレス決済付与ポイント事業とは

9月市議会の補正予算に「キャッシュレス決済ポイント付与事業」として、4億322万6千円が計上されました。

この事業は、市の説明によれば、新型コロナウイルス感染症の影響により、打撃を受けている地域経済を支援するため、市内の対象店舗にてQRコードを使ったキャッシュレス決済を使って支払いをした方に15%のポイントが付与することにより、市民及び近隣市住民へ消費喚起を行い、地域経済の活性化を図るといことです。同時にキャッシュレス決済を促進することにより、客と店員の接触を極力減らすことによる感染症対策を行い「新しい生活様式」の定着を図るといものです。

実施場所として、市内の対象店舗（PayPayが使えるお店）及び施設

事業期間—20年11月1日から来年2月28日まで（予定）

ポイント付与分の補正額—4億円



## 日本共産党はこの事業に何故反対したのか

八千代市はこれまで、「商品券」の発行により、地域経済の活性化とともに低所得者対策の両面から対応してきました。今回の施策には、低所得者対策が全くとられていません。

しかも、キャッシュレス決済は、「PayPay」に限るといのは、特定の企業の囲い込みに手を貸すことになり、行政の公正・中立の立場から見ても納得を得られるものではありません。さらに、市民の税金を使いながら、近隣市の住民が八千代市内で買い物をする場合でも15%分のポイントが付与されることも問題です。

日本共産党は、以上のような点を指摘し、この予算に反対し「組み換え」の提案を行いました。

## マイナンバーカードの普及が進まないのは

菅内閣が誕生して早1か月が経過しました。「たたき上げ」「パンケーキ」とマスコミを使ってイメージアップを図ってきたが、日本学術会議の推薦をめぐって、6人の任命を拒否したことに、国民は「学問の自由」に対する重大な挑戦と受け止め、強権的・ファッショ的な菅政権の姿勢に危機感を抱いています。

9月の決算委員会でも指摘しましたが、全国でも八千代市でも、マイナンバーカードの普及が進まないのは、何よりも政治に対する国民の信頼が揺らぎ、失っているからではないでしょうか。

政府は、普及率向上に2026年までに、マイナンバーカードに運転免許証を組み込もうと躍起になっています。これは、文字通り国民を警察権力が監視するための集大成にしようとするものです。

日本共産党は、国民とともにこのような企てを断固阻止するために奮闘する決意です。